

## ◎ 体育部門

### 1 行事及び内容

#### (1) 研究委員会

##### ①第1回体育部門研究委員会（6月11日 天草教育会館）

###### ○事業計画

###### ○平成27年度研究主題について説明及び小中共通実践事項の確認

###### ＜小中共通実践事項＞

ア基礎的な技能や知識の定着を図り、活用させるための工夫

・基礎的な知識・技能の定着を図り、生徒の意欲喚起を図るためのドリルゲームの開発

・身につけた技能をゲームで活用できるようにするためのタスクゲームの開発

イ伝え合う力を高め、体育学習に生かすための工夫

・話し合い活動を充実させるための工夫

・学習カードや作戦ボードの有効活用

###### ○平成27年度 天草教育研究所体育部門授業研究会にむけて

・内容及び受業者の選定

###### ○その他

##### ②第2回体育部門研究委員会（11月13日 天草教育会館）

###### ○平成27年度 天草教育研究所体育部門授業研究会に向けて

・大会当日の日程及び役割分担についての話し合い

##### ③第3回体育部門研究委員会（1月22日 天草市立本渡東中学校）

###### ○平成27年度 天草教育研究所体育部門授業研究会の反省

###### ○年間反省

#### (2) 事業内容

平成27年度 天草教育研究所体育部門授業研究会（1月22日 天草市立本渡東中学校）

###### ○球技 ゴール型 サッカー

受業者 天草市立本渡東中学校 松尾 真一 教諭

### 2 成果と課題

本研究会の研究主題を具現化するために、指導案を作成する前に「授業に関するアンケート、運動有能感調査、レディネステスト」を実施し立案に活かした。特に、サブテーマである「できる、かかわる、伸びる楽しさを味わえる保健体育の授業づくり」を数値化して検証するために、運動有能感調査を授業の事前・事後で行っている。本年度の主な活動として行った天草教育研究所体育部門授業研究会は、中学校の保健体育担当者だけでなく、会員となっている小学校教師も合同で研修をする場となった。研究授業の前には指導検討会を複数回行い、中学校の研究員だけでなく小学校の研究員にも参加を呼びかけ、授業作りのアドバイスやヒントを沢山出し合うことができた。小学校ならではの発想や運動未経験者を指導する体験談には学ぶことが多く、大変有意義な検討会となった。また、運動有能感調査の結果を受け、集団の平均値が低い項目や個人の数値が低い部分を洗い出し、具体的な手立てを考えていった。授業研究会の当日は、事前に練られた計画のためか、指導者のねらいに応じた生徒の活動が随所に見られてよい提案授業となった。ドリルサーキットやタスクゲームと主運動がリンクし、本時の目標を達成するための授業展開が工夫されていた。また、単元1時間ごとに目標や活動計画も作成されており、前後の授業とのつながりが分かりやすく表にまとめられていた。これまでの研究の流れを大切に、さらに小中連携を進めて発展させていきたい。